

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

357号

2020年11月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 韓日関係の改善に向けて、今、求められるものは何か

韓国大法院（最高裁判所）は2018年、日本の植民地時代の強制労働被害者問題（元徴用工問題）に関連し、日本企業に賠償責任があるという判決を下した。しかし、日本政府がこれを受け入れず、昨年輸出規制措置で対抗し、韓日関係の膠着局面が続いている。

### ●原則的立場表明を繰り返す韓日両政府

菅首相は先月24日、文在寅（ムン・ジェイン）大統領と就任後初の電話会談の直後、「一貫した立場に基づいて韓国に適切な対応を強く求めていきたい」と述べた。これに先立ち、外務省関係者は9月30日、日本メディアに対し「（日本製鉄の差し押さえ資産の）現金化をしない」という韓国政府の確約なしには「菅首相は今年末にソウルで予定されている日中韓3カ国首脳会談に出席できない」と述べた。しかし韓国政府は「行政府が司法手続きに干渉できない」という立場を貫いており、日本の要求を受け入れることは容易でない状況だ。

### ●日本政府の不当な介入により

#### 閉ざされた和解への道

2013年7月にソウル高裁が新日鉄住金（現、日本製鉄）に賠償を命じた直後、韓国内の関連資産の凍結を恐れた同社では、確定判決に従うか、判決前に和解するといった選択肢が議論されていた。ところが、新日鉄住金の検討状況が報道で明るみに出ると、日本政府では「（日韓請求権）協定が骨抜きになる」（外務省関係者）と反発が強まった。韓国側との安易な妥協に難色を示した菅義偉官房長官らの主導で、同社は敗訴が確定して

も従わない方針にかじを切らざるを得なかったという。つまり、安倍政権は韓国国民と日本の民間企業との間の訴訟にも関わらず、水面下で和解を握り潰していたというのだ。

日本国内では韓国の大法院決定に対して「韓国は法治国家ではない」などという批判が飛び出しているが、こうした日本政府のやり方のほうがよっぽど法治国家の原則を逸脱している。

日本製鉄は和解の精神に立ち返り、日本政府の指示に従うことなく、自らの判断で速やかに被害者への賠償を行わなくてはならない。また、日本政府はこれを妨害してはならない。

### ●韓国政府は政治的解決に

#### 向けて積極的に努力すべき

韓国政府も原則的立場を繰り返すのではなく政治的解決に向けて積極的に努力すべきだ。このまま日本製鉄の差し押さえ資

産の現金化が実行されれば日本政府は必ず対抗措置を取り韓日関係はますます悪化の一途をたどることになるだろう。

韓国政府は、これ以上の韓日関係の悪化を防ぐために、まず差し押さえ資産の現金化を凍結すべきだ。その上で、被害者に対しては適切な代替措置（賠償金の代替支給など）を取りながら加害企業と日本政府に対して粘り強い協議を重ね大法院判決の実現に向けて努力すべきだ。

原告が求めているのは、現金を受け取ることそのものではなく、ましてや韓日関係のこれ以上の悪化でもない。真に求められているのは、心からの謝罪とそれに基づく補償なのだ。（金五）



▲大法院の勝訴判決を受け、涙を流す原告のイ・チュンシクさん（右側）

## 韓青は自主・民主・統一運動の

### 誇らしい先鋒隊！

#### 韓統連大阪本部常任委員・韓青中央食事会

11月22日(日)に開かれる「韓青中央本部第27次定期大会」の成功に向けて、韓統連大阪本部常任委員と韓青中央との食事会が10月18日(日)、杯杯天山閣(大阪市天王寺区)で開かれた。

食事会では、金隆司(キム・ユンシ)代表委員が「金承民委員長をはじめ現執行部の皆さん、本当にご苦労さまでした。定期大会の準備で大変だと思います。私は、韓青は自主・主・統一運動を共にやっていく宝だと思っています。これからも共に闘っていきましょう」と乾杯挨拶を行った。



▲参加者全員で記念写真

その後、美味しい中華料理を食べながら、この間の韓青活動を振り返り、思い出話で場が盛り上がりとともに、大阪本部常任委員一人一人から慰労と激励のスピーチが送られた。

続いて、韓青からスピーチを受け、金承民(キム・スンミン)中央本部委員長は「中央本部委員長に就任して以降、様々なことを経験するとともに、李俊一(イ・チュニル)副委員長、白康喜(ハク・カンヒ)副委員長に支えられ、ここまで活動することができました。定期大会の成功に向けて頑張ります」と語り、李俊一副委員長は「金隆司代表をはじめ大阪本部の皆さんには、とてもお世話になりました。今後は韓統連の一員として皆さんと一緒に活動していきます。よろしくお願いします」と述べ、韓成祐(ハン・ソンウ)組織部長は「定期大会を成功させ、一

人でも多くの青年たちを集め、組織を拡大していきたい」と抱負が語られ、最後に記念写真を撮り終了した。

## 実行委員会で制作した紙芝居を通じ、 子どもたちに平和の大切さを伝える

### いややねん戦争子どもまつり2020

毎年、子どもたちに戦争の残忍性と平和の大切さを伝えるため開催している「いややねん戦争子どもまつり2020(主催:同実行委員会)」が10月24日(土)、御幸森第2公園(大阪市生野区)で開催され、多くの子どもたちが参加した。

今年で33回目を迎えた子どもまつりは、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため舞台演目中心の開催となった。

最初に、在日韓国青年同盟大阪府本部のメンバーなどによるサムルノリが披露され、子どもたちの注目を浴びた。続いて、アジアハウス子ども劇団による合唱や笑福亭仁嬌さんによる南京たますだれ、リンボーダンスなどが行われ、子どもたちの楽しそうな声が会場内に響きわたった。



▲熱心に紙芝居を見る子どもたち

今年の子どものまつりでは、沖縄与那国島の小学生が作った詩をもとに、初めて実行委員会で制作した紙芝居「へいわってすてきだね」が披露され、子どもたちに平和であることの素晴らしさを伝えた。その後、おやじバンドによるミニライブが行われ、最後に金昌範(キム・チャンボム)実行委員長が挨拶を通じ「平和は当たり前ではなく、皆で作って、皆で守っていくものということを皆さんと共有したいと思います」と語り、いややねん戦争子どもまつりは終了した。

## 韓青での18年間の活動を土台に 新たな活動の場で輝けるように！

### 高愛子副委員長卒業祝賀会

長きにわたり、韓青大阪本部で活動してきた高愛子(コ・エジヤ)副委員長が卒業することになり、韓青大阪本部主催で「高愛子副委員長卒業祝賀会」が10月11日(日)、新京愛館(大阪市生野区)で開かれ、18年に渡って韓青大阪本部で活動し、運動の最前線で活躍した高副委員長の卒業に際し、関西を中心に多くの同志が参加した。



▲高愛子副委員長を中心に記念写真

祝賀会では、参加者一人一人から高副委員長との思い出とともに、これからの韓青活動における抱負なども語られ、あらためて高副委員長の功績の大きさを皆が実感する場となった。

途中、他地方の同志、また先輩方からの映像や文書でのメッセージもあり、当時の活動を懐かしむ高副委員長の姿が印象的だった。

最後に、高副委員長からの挨拶では「韓青を辞めたいと思ったこともあったが、あの時、辞めなくて本当に良かったと思います。韓青を卒業した後も祖国の統一問題や、日本社会に蔓延する差別政策、社会問題に同胞として向き合い、より一層輝けるように前進していきます」と抱負が述べられ、参加者全員の拍手で確認して祝賀会は終了した。

## 懲役2年6ヶ月の不当判決糾弾！ 無罪判決に向けて即日控訴

### 関生(かんなま)大阪第2次弾圧事件 判決公判

公権力による全日建連帯労組関西地区生コン支部に対する弾圧が続く中、弾圧事件の一つである

「大阪第2次弾圧事件」の判決公判が10月8日、大阪地方裁判所(大阪市北区)で開かれた。

大阪地裁前には全国各地から弾圧に抗議する支援者が集まり、公判前に「労働組合つぶしの大弾圧を許さない座り込み集会」が開かれ「労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会」の小林勝彦さんが挨拶を行い「今日、もし不当判決が下されれば認めるわけにはいかない。認めることになれば、日本の民主主義の根幹を揺るがすことになる。必ず無罪を勝ち取ろう」と訴えた。

続いて労働組合、市民団体代表から連帯アピールが行われるとともに、裁判所周辺では不当弾圧に抗議する宣伝活動が行われた。

判決公判は午前10時に開かれ、西山直洋執行委員ほか1名に対し、懲役2年6ヶ月・執行猶予5年の不当判決が下された。判決直後には、裁判所前で集会を継続していた参加者に不当判決が伝えられ、不当判決を糾弾するシュプレヒコールが行われた。



▲判決の不当性を訴える坂田関西生コン支部副委員長

公判後、弁護団から公判報告が行われ、弁護団からは「判決の一番の問題点は、直接労使関係がないという理由だけで、正当な団体行動を認めなかったこと」と指摘、即日控訴をすることが報告された。

集会の後半には、各団体代表から不当判決糾弾のアピールが行われ、最後に無罪を勝ち取るため「団結頑張ろう」を行い、集会は終了した。

団結

## 【翻訳資料】 全泰壹(チョン・テイル)3法争取！労働改悪阻止を闘争で勝ち取ろう！

### 民主労総「全泰壹3法争取！労働改悪阻止！全国同時多発宣布大会

全泰壹烈士が「労働基準法を守れ！私たちは機械ではない」と叫び焼身決起を行い、今年11月13日で50年を迎えます。民主労総は現在「全泰壹3法」の実現に向け闘っています。韓国インターネット新聞「民プラス」に掲載された民主労総の闘いを紹介します。

100万組合員、民主労総の「全泰壹3法争取」「労働法改悪阻止」闘争が本格的に始まった。10月24日、国会議事堂のある汝矣島一帯などでは「全泰壹3法争取！」「改悪なら闘争！」とのゼネスト総力闘争への決意が宣布された。

9月、民主労総は▲すべての労働者に労働基準法の適用▲すべての労働者に組合活動の権利▲すべての労働者に死なずに働ける権利のために、10万労働者、国民の同意を得て「労働基準法11条」と「労組法2条」を改正し、「重大労働災害企業処罰法」の改正を内容とする「全泰壹3法」を立法発議した。

この日、民主労総の闘争は全泰壹3法は知らんぷり、または無視戦略で一貫する政府与党と保守野党を、闘争で「全泰壹3法」を完全な形で成立させることを決意する場となった。

金ジェハ民主労総非常対策委員長が「全泰壹3法」のシンボル像を掲げて、50年前「労働基準法を守れ」と叫んで散華した全泰壹烈士に、民主労総が自ら勝ち取った「全泰壹3法」を捧げるパフォーマンスを行い記者会見を始めた。金委員長は国会議事堂を見ながら「国会内で与野党が変わらぬ政治権力闘争に明け暮れているときに、議事堂の外では多くの労働者たちが職場から解雇され、命を懸けて断食闘争まで行っている。にもかかわらず政治家は誰一人として解決策を打ち出せないでいる」と政界の現状を批判しながら、国会議事堂に向かって「国会議員10名が法案を発議すれば即刻審議し、10万名の国民の立法発議はなぜ無視するのか。環境労働委員会、法制司法委員会

は全泰壹3法の審議に着手せよ」と声を高めた。

一方、ソウル大会の他にも民主労総の各地方本部である京畿・仁川・大田・済州などで同時多発的に決議大会が開催された。

各産別連盟は国会議事堂を取り囲むデモ行進の他にも、ソウル市内各地で決意大会とデモ、街宣を展開して「すべての労働者のための全泰壹3法を勝ち取る」との決意を市民に示した。

すでに代議員大会で労働法改悪に対抗してゼネ



▲「全泰壹3法」の成立を目指す民主労総

ストによる総力戦も決議した公共運輸労組はこの日、ソウル駅西部駅舎前でゼネスト・総力戦宣布大会を開催して、労働法改悪強行の時はゼネスト総力戦突入を決議した。また10月14日の中央委員会で、昼・夜それぞれ2時間以上のストライキを行うことを満場一致で決議した金属労組は、鐘路3街駅付近で集会と

街頭宣伝を展開した。

建設産業連盟は、組合員が麻浦駅付近で建設労働者を象徴する作業着と装備を付けて、麻浦大橋を渡って汝矣島までデモ行進を行い「特殊雇用労働者の組合活動を行う権利保障、重大労災企業処罰法制定」の声をあげた。

下半期の定期国会で、労働法改悪案採決強行の意向を示す政府与党、「労働改革」の美名のもと、資本側の要求を盛り込んだ追加改悪を狙う野党、国民の力に対抗して、政治圏に期待して法案通過を哀願するのではなく、労働者と国民の力で「全泰壹3法」を立法発議した民主労総。今、その力で「全泰壹3法」を国会で成立させ、労働法改悪を必ず阻止するためのゼネスト、総力戦はこのようにして始まった。

## 【コラム】 朝鮮王朝時代の伝染病対処

今年といえば新型コロナ感染症だろう。社会のあらゆるところに影響を与えている歴史的な伝染病であり、大災害とも言える。年初と比べれば世の中の様子はなんと変わったものか。これらの変様はおそらく今年で終わりではなく、いくつかは今後も継続されるものとなるだろう。

伝染病との戦いの歴史は実に長く、人類がその歴史を歩みだした瞬間から始まったとされる。天然痘、ペスト、結核、スペイン風邪…人類は多くの恐ろしい伝染病と戦ってきた。

我が国の歴史にも伝染病の流行は多く記録に残されている。『三国史記』を見れば紀元前15年、すでに百済での伝染病流行が記されている。「(温祚王)四年春夏、旱し饑疫あり」(『三国史記』巻23百済本記1)。短い文であり、飢饉による栄養不足が原因となって伝染病が流行したものかと推測できるが、詳細は分からない。

新型コロナと類似する流行性感冒(インフルエンザ)に絞って見れば、古医書では一般の風邪(カギ・感気)と区別すべき深刻な病気として語られている。朝鮮王朝時代の医書『東医宝鑑』では咳の出る症状を16種類に分類して論じ、その内で「天行嗽(チョネス)」は悪質な流行性感冒のことを指すと考えられる。この流行性感冒は歴史上幾度も朝鮮王朝を襲った。

余談ながら、三木栄『朝鮮疾病史』はこの流行性感冒の伝播について、日本と朝鮮との間に連環があるのではないかと論じている。例えば享保元年(1716年)から翌年にかけて日本において数万の死者を出した「風病」が、海を越えて肅宗43年(1717年)から3年間、朝鮮でも数万の死者を出した「染病」となったのではないかという説だ。けして確証があるわけではないが、興味を引く点がある。

さて、当時の人々はこのような伝染病の流行にどう対処したのか。朝鮮王朝時代の代表的な医学者である許浚(ホ・ジュン)が書いた『新纂辟瘟方(流行病を避ける方法)』では、次のような方法

が紹介されている。

①漢方薬を処方する。「春に温疫があれば葛根解肌湯がよい。夏に燥疫があれば調中湯。秋に寒疫があれば蒼朮白虎湯。冬に濕疫があれば甘桔湯を処方する」。その他にも季節や病状に合わせた漢方薬を挙げている。

②患者の病状進行に対処する。「病を得て2～3日目は頭痛や疼痛、また寒く感じたり熱が出たりする。これは邪気が表に現れたものであり、汗を流させるのがよい」。この他、4～5日目、6～7日目と分けてそれぞれの症状と療法、薬の処方を紹介している。

③鍼治療や体を冷やす。「大熱が出た時は、青布5～6尺を畳んで汲んだばかりの水に浸し、病人の胸の上に乗せる。熱くなればまた水に浸して乗せ、日に数十回取り替えて徐々にやめる」。

続いて、伝染病の予防法だが、①病気を祓う儀式を行う。「伝染病が大流行したなら、

街の六合の場所に深さと広さ三尺の穴を掘り、清い砂三石を広げて、清酒三升をその上に巻き、首長が祈願する。これが伝染病を消し去る良術である」。

②薬を服用して予防する。「伝染病が流行り始めたら、香蘇散を一つの大鍋で煎って、一人あたり一盞を服用して、以て流行病を予防するのがいいだろう」。

③患者に注意して接する。「伝染病患者の家に入る時は、注意深く静かに行動し、左位に構えて入る。男子の病は穢気が口から出て、女人の病は穢気が陰戸から出る。そのため、相対する間は、必ず背を向けていること」「家に伝染病が発生した時は、病人の衣服をきれいに洗濯した後、甑(こしき)で蒸す。そうすれば感染の患いは無いだろう」。

迷信的な儀式も混ざっているが、当時の社会では人心の安定のために必要だったのだろう。また現代から見ても幾分理に適っていると思える部分もある。(好)



▲東医宝鑑

# 俳句の紹介



▲京都市東山区にある耳塚

「京都から世界に平和を広める会」に参加された姜春根(カン・チュンゴン)先生の俳句です。

耳塚に無残に降るや 秋の雨  
 異土に来て埋められし 京の秋  
 耳塚でさぞ帰りたや 國の秋  
 秀吉め 罪を悔いるか 秋の雨  
 耳塚の墓前に唄う アリラン歌

俳号・思海

## ◆◆行事案内◆◆

### 韓統連セミナー2020 統一のための練習問題 朝米関係と核問題

日時：11月15日(日) 午後1時30分～  
 場所：KCC会館5階ホール  
 地下鉄今里駅下車2番出口から徒歩7分  
 大阪市生野区中川西2-6-10  
 報告者：金昌範(キム・チャンボム) 文教部長  
 参加費：800円(青年・学生：500円)  
 主催：韓統連大阪本部 090-3822-5723 (崔)



### 日韓民衆の力で東アジアに平和を！ 11・13大阪集会

日時：11月13日(金) 午後6時30分～  
 場所：エルおおさか南館1023号室  
 (京阪・地下鉄天満橋駅下車徒歩7分)  
 内容：《日本側発題》  
 藤本泰成さん(平和フォーラム共同代表)  
 テーマ「日米・日韓・日朝関係の現状と私たちの課題」  
 《韓国側発題》  
 韓忠穆(ハン・チュンモク)さん  
 韓国進歩連帯常任代表)  
 テーマ「南北・朝米関係の現状と私たちの課題」  
 ※韓国からはリモートで実況中継します  
 資料代：1000円  
 主催：日韓平和連帯 TEL06-6583-5549

### 編集後記

「いややねん戦争子どもまつり」が今年33回目を迎えました。第1回に参加した子どもたちが大人になり、その子どもたちが参加しているのではと思うくらい歴史を感じました。(ソン)



